

東陽病院だより



東陽病院院長
伊藤 文憲

今年も健康診断の季節がやつてきました。胃X線による胃ガン検診、検便による大腸ガン検診を受診しましたか？

ガンの治療には早期発見が最も有効です。検査を受けられなかつた場合には人間ドックを利用することも可能です。

次の健康診断は血圧の測定、血液検査による肝臓機能・糖尿病・高脂血症などの検査で尿病・高脂血症などの検査です。将来起りうる脳血管障害や狭心症、心筋梗塞の発症の予防が目的です。

昨年メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)について述べました。最近の健康に関する記事には必ず記載されています。この疾患概念は今までバラバラだった検査結果をうまくまとめて成人病の予防に対する注意が促されることです。

メタボリックシンドロームは2005年4月に内科学会は2005年4月に内科学会とされます。

さて内臓脂肪についてはお腹を計るという簡単な測定法で代用しましたが、本来は腹部CT検査やMRIによりお腹の中の内臓脂肪の占める面積を数値化することが正しい

脂肪肝・内臓脂肪

健康へのメッセージ

方法です。実際内臓の中にたくさん脂肪があることが血管の壁などの動脈硬化に関連があることがわかっています。

脂肪肝は、まさに内臓の中

を初めとして8つの学会が合同で診断基準をまとめたものです。具体的には必須項目としての内臓脂肪の蓄積を判定する手段として、おへその位

置で腹囲を計り、男性では85cm、女性では90cm以上を内臓脂肪蓄積ありとします。

さらに次の3項目の危険因子のうち2項目以上を有する場合をメタボリックシンドロームと診断しています。3項目とは①中性脂肪値150mg/dl以上、又はHDLコレステロール(いわゆる善玉コレステロール)値40以下、②最高血圧130mmHg以上又は最低血圧85以上、③空腹時血糖110mg/dl以上です。肥満傾向で、血圧が高く糖尿病や高脂血症の場合は立派なメタボリックシンドローム保持者となり、脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化疾患の予備軍とされます。

☆ あじの南蛮漬け ☆

材料：(4人分)
小アジ 400 g
長ネギ 1本
ピーマン 2個
にんじん 小1本
南蛮酢
しょうゆ、酢 各大さじ3
砂糖 大さじ2~3
赤唐辛子 1本
小麦粉、揚げ油 適量
エネルギー 1人分 340kcal



手作り料理を
食卓に！



『作り方』

①長ネギは5センチの長さに切って素揚げにし、にんじん、ピーマンは細かくせん切りにする。

②赤唐辛子の種を取り南蛮酢の材料と混ぜ合わせておく。(辛いのが、好きな人は輪切りにしてもよい。)

* 揚がったアジの油をよくきり、アツアツを①の野菜と一緒に②の南蛮酢に漬け込む。

* 二度揚げは、はじめ160度の低温でじっくり2度目は180度の高温で焦げないように揚げる。

* 小あじは比較的手に入りやすい食材です。

南蛮漬けは、少しピリ辛で酸味もさっぱりと、食がすすみます。

④③の小アジを二度揚げし

食生活改善推進員
鈴木のふよ(古川)

脂肪が貯まっていますよ」と話すことができます。当然ながら食事療法や運動などによる肝臓から脂肪分が抜ければ元のきれいな肝臓の像に戻ります。

◆救急当番日

午前8時30分	26日(日)
午後5時15分	1335

☎841335

内臓脂肪についてお問い合わせ

③小アジはゼイゴを取り内臓を出して洗い、水気をしつかりふいて小麦粉を均一にまぶす。

③小アジはゼイゴを取り内臓を出して洗い、水気をしつかりふいて小麦粉を均一にまぶす。

南蛮漬けは、少しピリ辛で酸味もさっぱりと、食

がすすみます。

15 2007.8.1 広報よこしばひかり